

レアアースとは？

レアアースとは希土類元素とも呼ばれ、スカンジウムネオジムなどの17の元素の総称で、ほんの僅か添加するだけで材料の特性を変え、性能アップを図ることができます。例えばハイブリッドカーの心臓部とも言えるモーターにネオジウムを使うと磁力の強い小さな磁石を作ることができ、結果としてモーターも小さくすることが出来ます。このような特性から現在では液晶ガラス基板や蛍光灯、レーザーなど幅広い製品に使用されています。

これらレアアースの資源大国は中国・ブラジル・オーストラリアなどで、日本は現在輸入の9割以上を中国に頼っています。そのため中国はレアアースを戦略物資と位置づけ、輸出数量を削減したり、課税面においても規制を強めてきています。そのため中国の思惑で価格が大きく変動するのが現状であり、先日発生した大閩諸島沖漁船衝突事件の時のように政治にも利用されるほどの影響力を示しています。

このような現状を政府や商社はある程度予想し、商社は約1年分、国家としても約1ヶ月分を備蓄してあるため、日中両国の間に今回のような事件が発生したとしても直ちに打撃を受けるといついかなる事はないと言われています。

また最近では中国以外の供給先としてベトナムが注目されてきています。ベトナムにはレアアースの鉱山があり、政府の後押しもあり、日本の大手商社はベトナムに工場を進出させ2011年以降年間5000トンものレアアースを生産できる可能性があります。この量は日本の需要の約2割を占める数字です。

またレアアースは世界全体で見るとまだまだ未開発の国が多く、生産量の9割以上を占める中国でも埋蔵量自体は3割に過ぎないと言われています。当然日本国内にも存在し、マンガン鉱床に多数のレアアースが含まれていることが確認されています。

このように供給先確保の問題は以前から認識されており、今回起きた大閩諸島沖漁船衝突事件によりレアアースの抱える問題が広くクローズアップされたという面もあります。

そして今後の課題としてリサイクルやレアアースに頼らない代替技術の開発など官民一体となって解決していかなければならない問題点も明確になったのではないのでしょうか。



吉田地区納涼会

8月26日、富士吉田営業所前にて技術管理部の納涼会が行われました。5月に富士吉田市に営業所が移転し、その体制固めや日頃の慰労も兼ねて本社より社長以下3名、富士吉田地区を統括する宮下係長、4現場に常駐する総勢15名が一堂に会しました。各現場それぞれでの苦労や仕事の喜びなどをお互い語りあい、当日開催されていた祭りにも負けない熱気に包まれていました。このような交流の機会を持ち、なお一層結束を固くする技術管理部でした。



ほろ酔いでいい気分



社長を交え和気藹々



ドラゴンフルーツ成長記 PART 7



↑
茎から根が生える

朝晩めっきり涼しくなり、とても過ごし易くなりましたね。今年の夏は例年に無い暑さが続きました。そのおかげでドラゴンフルーツはめいっぱい太陽の光を浴びることができ、上下左右思い思いの方向へ成長できました。勢い余って茎の途中から根のようなものが生えてくるほどの元気さです。秋になっても当分弱りそうにありません。



↑
順調に生育中



↑
5世帯揃って記念撮影

がんばれヴァンフォーレ

最近絶好調のヴァンフォーレ甲府、現在勝ち点53で2位をがっちりキープしています。このまま行けばJ1昇格圏内ですが、油断は禁物です。次の試合は10月3日(日)にホーム小瀬で横浜FCと対戦です。残すところ9試合、全力で応援していきましょう！



甲府ビルサービス株式会社

TEL : 055-252-0555

FAX : 055-252-0155

- URL -
http://www.kofu-bldg.co.jp/

下宿ホテルサービス株式会社

TEL : 055-252-7887

FAX : 055-252-1622

- URL -
http://www.fujihotel-s.co.jp/

〒400-0062 山梨県甲府市池田1-5-9

E-mail : kbs-group@kofu-bldg.co.jp

ドラゴンフルーツのトゲは外見以上に鋭く、とても痛いですが、南国ではそれだけ襲ってくる外敵も多いということで果実はさぞかし甘くておいしい事でしょう。実が生るのはいつのことか分かりませんが、今から楽しみです。

